

提出日 令和 4年 12月 26 日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会
2022年度漢字まなび活動助成制度 活動報告書

団体名:特定非営利活動法人安井息軒顕彰会

代表者名:理事長 齋藤 義輝

下記の活動について活動を終了いたしましたので、報告いたします。

1. 活動名	みやぎき三計塾（安井息軒著「論語集説」を読む）		
2. 活動日 活動期間	令和4年10月2日、10月9日、10月23日、11月6日、11月20日、 12月4日 日曜日の延べ6回 午前10時～午前11時45分		
3. 活動場所	宮崎市安井息軒記念館研修室		
4. 活動目的	安井息軒先生の著作「論語終節」を講師と一緒に読みながら、漢字に親しみ、安井息軒の学問を追体験する。		
5. 対象	安井息軒及び論語に関心がある一般の方		
6. 参加費	無料		
7. 参加人数	123	名	内訳（小学生 名、中学生 名、高校生 名、一般 123名）
8. 活動結果 (自由記述・ 写真貼り付け 等可)	<p>(活動状況) [安井息軒著作を読む]というテーマで、息軒の「論語集説」を詳しく読んでいく内容となっている。</p> <p>・初めて受講される方もいることから、古典を解釈する上で欠かせない注釈書について古注といわれる何晏の「論語集解」、新注といわれる朱熹の「論語集註」「十三経注疏」に代表される注釈の注釈「集疏」、またその他の注釈書について解説があった。・論語は、文字の読み順を少し変えるだけで意味の取り方が微妙に変わったり、否定に否定が頻繁に使われたりすることで非常に難解である。・講師と受講者の間で、その解釈の違いが生じた場合は時間を割いて議論されたが、明確な答えがあるわけでもない。「論語」に様々な注釈が存在するもの当然のことで、漢文の奥の深さを痛感する講座であり、息軒の解釈は論理的で現実的であったと感じる。</p> <p>(受講生の感想) ・分からないと思いながら、聞いていくと、だんだんわかってきて楽しく勉強できた。</p> <p>・何回勉強しても、難しいしか出てこない。文章を読めば分かった気になっているが、深いものを感じる。でも楽しいからよいです。</p> <p>・分かりにくい内容ではあるが、繰り返しの講座を受けて理解できるようになった。</p> <p>・来年度もよろしく願います。少しわかるようになり感謝です。</p> <p>・難しかったです。6回受講しましたが、来期も開催されることを願います。</p> <p>・漢字がいろいろ変化して、意味が多いことがよくわかりました。</p> <p>又、来年度が楽しみです。</p>		

以下の資料を必ず添付して申請してください。

- 【様式2-2】漢字まなび活動助成制度 収支決算書
- 収支決算書に記載した費目の、領収書のコピー(折り曲げず、A4用紙に張り付けてご提出ください)

・複数ページにまたがっていただいても結構です。
・本報告書の内容は、当協会ホームページ等で公表します。写真等は公表しても差し支えないものをご提供ください。

書類の送付先

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 「漢字まなび活動助成」係
郵送：〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
メール：planning@ic.kanken.or.jp